

「男たちよ、男であれ！」

最近、女性活躍推進や男女共同参画など、女性の活躍推進に向けた言葉が多く聞かれる。女性の社会進出に伴い、今まで男性が多かった職場にも女性が多く進出してきたことは良いことだと思う。

ただ、肉体的に女性にはムリな職場があるので、そのことは考慮してあげなければならない。女性の社会進出の影響が分からないが、どうも男性に元気がなく、弱くなってきたように思われる。

中には、何でもかんでも男と女は同じでなくてはならないと主張している人達が居て、トイレの案内板の色を男女ともにピンク色にしたりするのは止めてもらいたい。

元々、男と女は肉体的に違うのだから、全て一緒にするのは不可能である。

また、男性の育児休業取得率の数値目標を掲げている所があるようだが、男性は女性と肉体的機能が違うため、育児休業を取得しても女性の代わりをするのは難しい。

父親が必要になるのは、子供がもう少し大きくなってからではないだろうか。

子供は、親の後姿を見て育つもので、人生の岐路に立った時に、親父のアドバイスが重要となる。

昔は、地震・雷・火事・親父と言われ、恐いものの中に親父が入っていた。

親父は家長として対外的な責任を負う立場であった。

ところが、今の親父たちは、他人に責任を押し付けて自分を守る輩が多くなってしまった。

全く、みっともない限りである。

今でも、親父は家長として、家族（女・子供）を守る使命があることに変わりはない。

男が強くなって家族を守ることで、社会は安定するものだ。

「男たちよ、男であれ！」

編集委員 西村 源信

《編集委員会》

編集委員長 門前 昌志（阪神化成工業株）

編集委員 喜多 進（株）大樹

◇ 西村 源信（三光合成株）

◇ 柴野 恒夫（株）リッチェル

◇ 林 延幸（株）タカギセイコー

編集後記

会報編集に携わって3回目の発行となりました。本当に色々な方々のご協力のお陰と感謝しております。私にも一応担当があり、メインは「トップインタビュー記事」です。インタビューの時のトップの方の「凄まじい生き様」その迫力ある生の声を如何に伝えるか、纏めるのに毎回、四苦八苦して書いています。

是非、隅々まで会報を読んで、富山県プラスチック工業会の活動を知って頂いて、もっともっと色々な事業に参加して頂ければうれしいです。

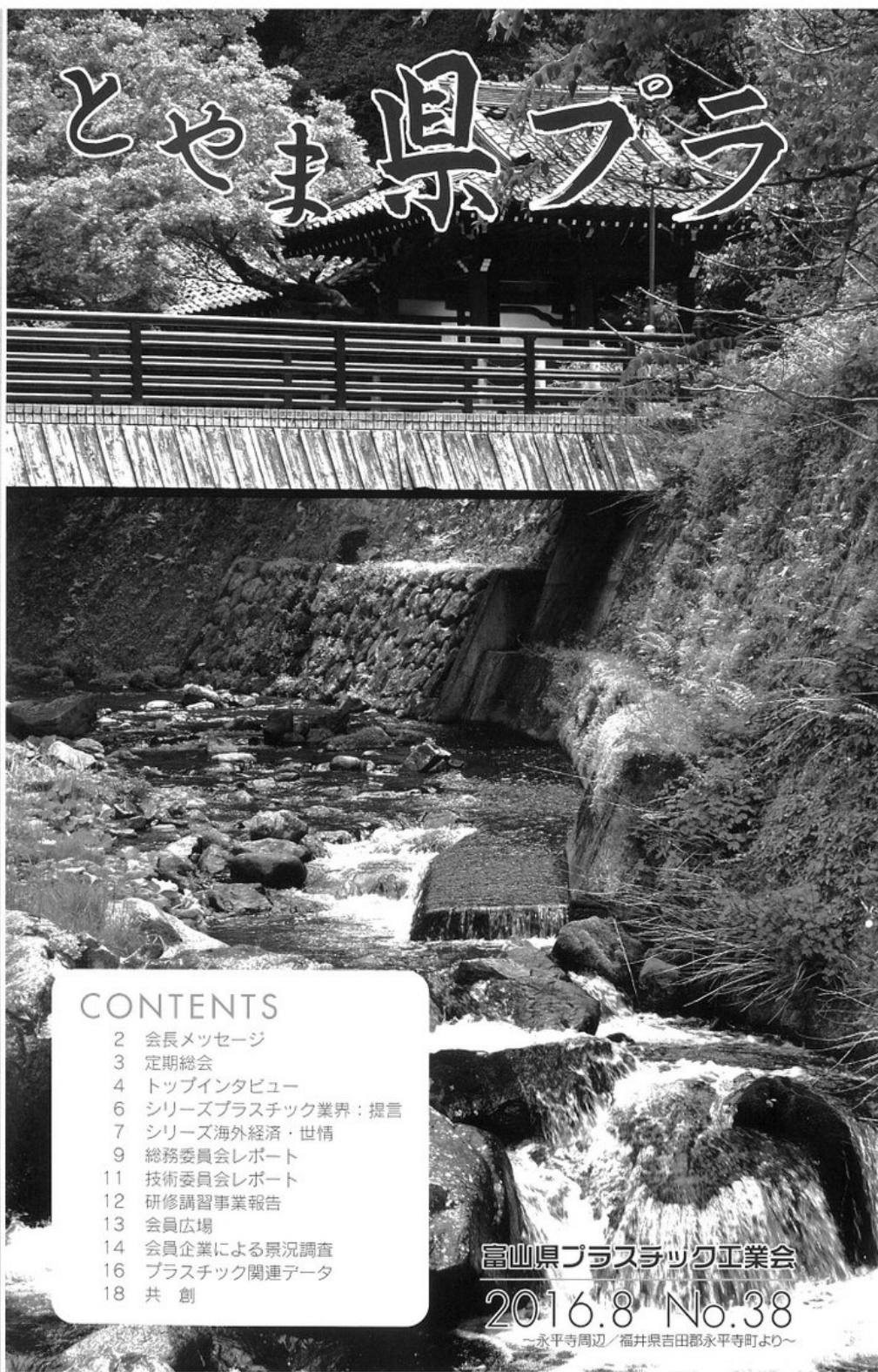
事務局長 福島（記）

表紙写真提供 青海 正和氏

とやま県プラ

富山県プラスチック工業会

（富山技術交流センター内）
〒930-0866 富山市高田529番地
TEL (076) 442-0309 FAX (076) 442-0310
URL <http://www.kenpla.jp> E-mail info@kenpla.jp



CONTENTS

- 2 会長メッセージ
- 3 定期総会
- 4 トップインタビュー
- 6 シリーズプラスチック業界：提言
- 7 シリーズ海外経済・世情
- 9 総務委員会レポート
- 11 技術委員会レポート
- 12 研修講習事業報告
- 13 会員広場
- 14 会員企業による景況調査
- 16 プラスチック関連データ
- 18 共創

富山県プラスチック工業会

2016.8 No.38

～永平寺周辺／福井県吉田郡永平寺町より～

企業の事業継続と事業発展のために

富山県プラスチック工業会
会長

高田 順一



盛夏の候を迎えましたが、皆様にはますますご健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

日頃は当会の運営に格別のご配慮を賜り厚く御礼を申し上げます。

7月12日、呉羽ハイツにおいて開催されました経営セミナーに参加いたしました。

総務委員会が毎年その時に合ったテーマで講師を選定していただいています。

今回は株式会社日本政策投資銀行富山事務所長・鶴殿 裕氏に「事業継続マネジメント(BCM)について」、株式会社リッチェル新事業開発室室長・堀田裕二氏に「顧客ニーズを捉えた新商品の企画・開発プロセス」をテーマに講演をしていただきました。どちらも私たち企業の事業継続、事業発展に関連するテーマであり、40名近い参加者が熱心に受講いたしました。

4月14日と16日に発生した熊本地方の大地震はともに震度7で大変な被害をもたらしました。16日の本震は14日の前震をはるかに凌ぐ激しさであったと聞いています。お亡くなりになりました皆様のご冥福をお祈りするとともに、被災されました皆様にお見舞いを申し上げます。

講演資料の全国地震動予測地図2016年版を見ましても、熊本県は富山県と同様に今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率が低いと言われる地域でした。したがってこのような大きな被害を目の当たりにしますと、日本では安全と言いつけるところはないと思われました。

熊本県と富山県にはもう一つ共通点があります。環境省が全国各地の名水を集めて日本名水百選として紹介していますが、富山県と熊本県だけが4箇所の名水を持っています。富山県には黒部川扇状地湧水群、穴の谷の霊水、立山玉殿湧水、瓜裂の清水があり古くから名水として県民に愛され、県外からもこれらの水を求めて多くの来場者があります。

熊本県は阿蘇地方に美味しい水が湧き出ています。当社のお取引先の一社が熊本県南阿蘇村でこの水を採用し全国に販売されています。その社長と大阪でお会いしご挨拶を交わしたのが4月13日でした。その翌日に地震が occurredしたので大変驚きました。幸い最近建築された工場が耐震構造に優れていましたので、大きな被害がなく交通網の回復に伴い通常の操業に復帰されています。

しかし熊本県内には多くの企業が復旧の目的がつかずにいるとの報道があります。

BCMに関しては東日本大震災以降、多くの企業が真剣に取り組むを始めていますと承知しています。しかし多くの中小企業にとっては何処からどのように手を付けてよいのかと逡巡されているのではないかと拝察いたします。

今回の経営セミナーをきっかけとしてBCMへの関心が高まり、BCMセミナーやワークショップを継続的に開催することでBCMへの理解が進むことを期待しています。

皆様、暑さ厳しき折ですが、ご自愛いただきますよう祈念申し上げご挨拶といたします。

平成28年度 第55回 通常総会開催

◇総会

平成28年度通常総会が6月2日(木)、午後3時から富山第一ホテルにて開催された。はじめに高田会長より開会の挨拶があり、議長に高田会長を選出して議案審議に入った。

- 議案は 第1号議案 平成27年度事業報告の件
 - 第2号議案 平成27年度収支決算報告・監査報告の件
 - 第3号議案 平成28年度事業計画(案)の件
 - 第4号議案 平成28年収支予算(案)の件
- 報告事項

を踏った結果、原案どおり可決承認され、報告事項の報告を以て総会を終了した。

平成28年4月14日に熊本地方に大きな地震が発生し、災害に対する備えを地域や当工業会で考えていく必要がある。また、各企業の努力に加えて、当工業会の各事業に参加し、情報交換や技術の研修を重ねることで、更に事業の拡大を図っていくこととした。

◇記念講演

本年度の総会記念講演には、北陸経済研究所 地域開発調査部 主任研究員の石黒厚子様が「女性の活躍～両立支援とキャリアアップ～」と題して講演された。

現状の女性を取り巻く環境(就職～結婚～出産～子育て)の紹介から、現在、女性の活躍を支援している企業の取り組みや、更に女性が働きやすい環境(企業、社会、家庭)と仕組みについて熱く語られた。

◇懇親会

引き続き懇親会が開催され、60余名の会員や関係者が参加された。高田会長の開会挨拶にはじまり、富山県商工労働部 大橋次長の乾杯のご発声のあと、和やかに歓談に移り、各円卓では賑々しく相互に親睦を深め合う中、延澤副会長が中締めをしてお開きとなった。



総会：会長挨拶



講演



懇親会

富山から日本へ、日本からアジアへ、 アジアから世界へ

ファインプラス株式会社
代表取締役社長 三宮 悟治郎 氏



北海道の夕張から上京し、東京の東京都市大学（旧蔵工業大学）を卒業後、SMK株（旧昭和無線工業株）に就職し富山工場に出向。東京からの成成品の供給を受けていた生産体制を、地元の企業による金型作成から成形技術の確立へと地元での供給体制を築き上げ、更には新たな会社ファインプラス株（旧滑川プラスチック工業株）を世界に通用する会社に育て上げてきた数々の挑戦等について、喜多会報編集委員にインタビューをして頂きました。

【インタビュー：会報編集委員
森大樹 専務取締役 喜多 進氏】

1. 創業の経緯と社業・社歴をご紹介ください。

創業は、昭和42年に初代社長「故軍記茂氏（大木家より軍記家へ養子に入る）」が大木樹脂工業株で工場長をしていた経験を生かして、県東部地区で家電関係のプラスチック部品の成形加工に取り組んだのが始まりです。

創業から1970年代までは、この家電関係のコネクタを中心に業績も好調でしたが、1980年代の円高の影響から大幅な受注減少に見舞われ、業績不振に陥りました。

1991年に工場長として入社した私は、急激な海外展開が進む家電産業から、今後の国内産業の基盤産業となりうると信じて、自動車関連事業に「人・物・資金」を集中させる戦略、方針を立て、受注先を住友電装株に絞り、企業蘇生に死力を尽くしました。

2000年には、顧客から海外の現地生産拠点への納品を求められ、金型の専門工場である輝日工業有限公司を設立し、2004年には中国・深圳市で合併会社・偉力工業有限公司を設立して、自動車部品工場を本格稼働させました。更に2013年には得意先の受注増に対応する目的として、中国に次いで2カ国目となるタイに進出しました。

この海外展開から2008年には、当社が進めているグローバルな企業になる事を決意し、社名もグローバルにする必要性を感じて、「滑川プラスチック工業株」から「ファインプラス株」に変更しました。

2001年には社長に就任し、現在は、これまでの住友電装株からの数々の指導のおかげで一段とレベルも

向上し、サプライヤーの中でもトップクラスの地位を確保しています。

2. 海外進出のきっかけと、現在までの取り組みについてお聞かせください。

1997年、得意先である住友電装株様の「部品調達グローバル展開」の方針から、旧知の川副氏（前職の技術担当の時に試作原材料の手配や、起業後に中国の会社で開発商品を作ってもらった関係）との再会がきっかけで、中国への海外展開を決定しました。この頃はまだまだ会社の蘇生途中でたいへんな時期でした。結果、部品調達会社33社の中で、当時残ったのは我が社を含めて3社のみでした。

1998年には川副氏の会社である肇英実業有限公司と技術援助契約を結び、1999年から、中国人に金型設計、金型メンテナンス、組立について教育を開始し、2000年に金型工場を立ち上げました。2004年には金型・成形部門を合併して偉力工業有限公司を設立し、住友電装株様からの現地受注を受けて生産を開始しました。

2014年には深圳から惠州にある住友電装株様惠州工場のそばに同工場を移転して、金型設計から成形・組立までの一貫生産をしております。

2012年には蘇州工場（技術指導）、2013年にはタイ工場（電子部品）と住友電装株様の4極供給体制（北米・中国・日本・アセアン）の3拠点まで進出しており、海外での調達のハブ化のモデルケースとなっています。

3. 貴社の企業理念や強み、これまでの経営面の中で特に印象に残っていることをお聞かせください。

我が社の経営理念は、よりグローバルな企業を目指し、どんな境遇でも愚直にやりきる姿勢を徹底し、当



社が掲げている標語通り「「すなお」な心で「愚直」に「やりきる」」そして結果を出すことです。

また強みですが、長年、自動車電装用の部品を生産しており、求められる品質の対応や技術提案、納期対応には大きな自負があります。

経営面で特に印象に残っているのは、やはり入社した当時の企業蘇生に死力を尽くしたことです。今までのやり方をすべて否定して、徹底した「内製化」と「品質管理」、そして経営計画から目標、実行、確認、改善と当時としては画期的な言葉「品質経営」論を社内徹底してやり抜いたことです。当時は言葉では言い尽くせない苦難の連続で、今でもよくやれたと思います。

そして昨年、経済産業省 中小企業庁から「2015 がんばる中小企業・小規模事業者300社」に選定されたことは、これまでの成果としてたいへんうれしく思っています。

4. 従業員の方に望まれることや伝えたいことは何でしょうか。

弊社のモットーは男女平等・学歴優先は無く実力主義です。女性の管理職も多いです。

会社方針と目標管理が徹底され、その方針に沿ってやりきる実力を評価しています。即やる人・やりきる人を優遇し「失敗は成功の元」の格言を重んじ、失敗してもチャレンジを優先的に評価してリカバリーを認めています。

管理者教育は、係長以上もしくは指名者に年3・4回討論形式で繰り返し指導しています。管理職としては、コミュニケーションを大切に、スピードとチームワークを優先に積極的な指導・アプローチを評価しています。これが社長方針です。

従業員の皆さんには、常に会社方針の「品質経営」に徹する品質優先の生産活動と、決めたことは守って頂く「決める 守る 直す 守る」の徹底、そして職場は常にきれいに3S+2S=5Sの徹底と会社方針のPK活動（ピカピカ改善）の推進をお願いしています。

5. リーダーとしての信条についてお聞かせください。

会社理念で述べた様に、どんな境遇でも愚直にやりきる姿勢を徹底し、当社が掲げている標語通り「「すなお」な心で「愚直」に「やりきる」そして「決める 守る 直す 守る」事を実践してまいります。

6. 愛読書や座右の名、ご趣味についてお聞かせください。

愛読書は特にありませんが、新聞3紙（日経、日刊工業、北日本）を毎日読みます。また、経済（雑）誌では日経ビジネス、月刊誌では実業之富山等を読んでいます。



最近読んで印象に残った本は、石原慎太郎氏が田中角栄氏について書いた「天才」や、「ANAの口ぐせ」等です。毎月2~3冊は読みます。海外出張が多いので飛行機の中で読み、その後は、海外工場に置いておくことが多いです。

座右の銘は「性格は人格で変えられる」です。性格は遺伝子であり変えられないが、これをコントロールできるのが人格です。威張ることなく常に前向きに勉強をして人格者になる様にとの学生時代の恩師の教を自分なりの言葉にして大切にしています。

趣味はスキーです。今も大学時代の恩師とスキークラブをつくり、副会長を務めています。毎年お正月は志賀高原で過ごしますし、2月か3月には従業員の皆さんと一泊二日のスキー旅行に行きます。

《インタビュー後書き》

お忙しいところ、長時間にわたりご丁寧にお応えくださり、誠にありがとうございました。三宮社長の生い立ちから、大学生時代の恩師との影響力、ファインプラス株式会社の前身である滑川プラスチック工業株式会社に入社されてからの波乱万丈の立て直し政策等、そして海外進出を進めグローバル展開されている昨今の経営手腕等々、大変感銘を受けました。

また、「頑張ります」ではなく「結果を出します」という教育方針や、男女平等・学歴優先は無く実力主義を通され、女性管理職が多いこと等、大変参考にもなりました。今後ますますのご健勝とご発展を祈念してインタビューを終了します。



三宮社長（左）とインタビュー（右）

会社概要	
・会社名称	ファインプラス株式会社
・会社設立	1967年12月
・代表者	代表取締役社長 三宮 悟治郎
・資本金	3億2336万円
・事業内容	エンジニアリングプラスチック用精密金型設計製造、射出成形製品、組立加工製品の製造及び販売

Reshore作戦のススム

佐藤功技術事務所

所長 佐藤 功氏



アメリカの成形業界では「リショア (Reshore)」なる言葉が流行っている。日本語で言えば「国内回帰」となろう。エネルギー・原料価格の下落、途上国の労務費上昇や政情不安などがきっかけになり、製造業の国内回帰が進んでいる。この流れの中でプラスチック部品も国内調達に切り替わる例が増えているからだ。単価で多少負けていても、品質、納期、輸送費、在庫負担などを勘案すると国内調達の方が有利なケースがあることが顧客から理解され始めたためだといわれている。

まだ思慮に浴していないモルダも動きだしている。海外移転によって仕事が失われた時と今ではコスト構成や要求品質が変わっている可能性がある。直接費だけでなく、輸送、在庫のような間接費も変化している。これらを勘案し、トータルメリットがあることを顧客にアピールしている。

品質も検査で不良品を排除している場合と工程能力に見合った品質では信頼性が全く違う。また、工程でのトレーサビリティが要求されるようになると、工程管理の仕組みの完成度が問われる。

非価格競争への関心も強まっている。例えば開発、設計、試作時の協力がある。これらは遠く離れたモルダには期待できない。最近では安心、安全志向が強くなり、各種認証、認定を取得する製品も増えている。これらの中には生産前から、生産部門との協力が必要だ。これも距離や技術インフラのバリアが小さい国内調達のほうが有利だ。

納品様式も国内調達ならさまざまな差別化が可能だ。納品量、タイミングだけではない。プリセットサービスとかアソートサービスとか言われる、納入ラインですぐ使える状態での出荷も可能だ。営業活動、クレーム処理、先に発生した滞りなどのような事件などに対する協力なども遠隔地のモルダが出来ることは少ない。

非価格競争力に目覚めたモルダの中には、自社の得意とするスキルをより高く評価してくれる納入先を求めて新規顧客開拓を積極化している例もある。

日本でもインバウンド需要をきっかけにしてメイドインジャパンの価値が急上昇している。

しかし、これがアメリカのように成形業まで波及したと言う話はまだ聞かない。ならば成形側から仕掛けたらどうだろう。古い納品書を引っ張り出し、海外移転した部品を探し、これが今どうなっているか調べるのだ。時間が経っているとすでに製品自体がなくなっている場合もあるかもしれない。その場合でも後継機の状態が開ける。引き続き流れている部品が見つければコスト構造や品質状況を比較分析する。状況が変化している中で「やりようのある」テーマが見つかるはずだ。これが取引関係再構築のきっかけになる。

アメリカの例から見ると納入単価での乖離が大きければ論外だが、トータルコストに注目することが重要だ。納品条件、品質管理体制、あるいはさまざまな協力のほうがReshoreを確実にする。このような努力が事業体質の強化につながることは間違いない。



高陵プラスチック工業株式会社

〒933-0824 高岡市西藤平蔵字内川原1312
TEL(0766)63-5656(代)
FAX(0766)63-5658

SAITO

Plastics Molding / Package & Parts

株式会社 齊藤製作所

富山県富山市下大久保61 〒939-2251
☎(076)468-2727 FAX(076)468-3911

オリンピックを控えたブラジルの経済動向

ジェトロ富山事務所

所長 山本 諭氏

【はじめに】

ブラジルは面積が851.5万平方キロメートル（日本の約22.5倍）、人口が2億445万人（ブラジル地理統計院 2015年）となっており共に世界第5位の大国である。そして今年、南アメリカ大陸初となるスポーツの祭典であるオリンピックをリオデジャネイロで開催する。ブラジルと言えば2014年にはサッカーワールドカップを開催したことは記憶に新しいと思うが、当時もワールドカップ反対派のデモをはじめ、開幕まで1ヶ月を切った時点で未完成のスタジアムや交通インフラ整備の遅れ等、何かと不安要素が多く叫ばれていた。そんな中でのワールドカップの開催であったが、いざ始まると試合の熱狂もあり運営上の問題が大きくクローズアップされることがなく無事成功させた。

【ブラジルを取り巻く経済状況と外的要因】

しかしながら足元の経済状況は厳しい。IMFによるとブラジルのGDP成長率は2013年の3.015%から2年連続で下落し2015年にはマイナス3.847%とリーマンショックの影響を受けた2009年を下回り、2000年以降では最低の水準まで落ち込んだ。2016年のGDP成長率の見込みについてもマイナス成長が予測されており、短期間での経済回復への道は厳しいと見られている。

ブラジルは鉄鋼石、石油、農産物と資源に非常に恵まれた国である。2000年代後半から始まった資源バブル期には資源、農産物といったいわゆるコモディティ（商品先物取引で取引される商品）の価格高騰が始まり、コモディティの輸出を経済の発展につなげ年率5～7%の高い経済成長率を達成した。ところがブラジルの貿易最大相手国はアメリカではなく中国であり主な輸出品目は鉄鋼石、大豆、石油製品が大半を占

める構成となっている。2010年まで年率10%程度の成長率を維持していた中国経済の減速がここ近年鮮明になっており中国統計局の発表によると2015年は6.9%まで落ち込んでいる。つまり消費大国である中国経済の減速による中国のコモディティの需要の減退が直接ブラジル経済に与える影響は非常に大きい。特に2013年以降は世界的な需給のアンバランスから資源価格が下落し、最大の輸出品である鉄鋼石の価格は2013年の年初は150ドル/トンであったが急激に価格が下落し、2015年末には40ドル/トンを切る水準まで下落した。またWTI原油も同様に2013年から2014年半ばまでは1バレル100ドル前後の水準で推移していたが2016年1月には一時30ドルを割りこんだ。さらに追い打ちをかけたのは昨年の国営石油会社のペトロブラスによる政界を巻き込んだ汚職事件だ。この影響もあり今年5月に現職の大統領が職務停止に追い込まれ暫定政権が誕生したが、同暫定政権においても汚職事件にからみ閣僚辞任が相次ぐなど混迷を極めており混乱に拍車をかけている。

経済回復の第一歩は政治の信頼回復から始まるのではないかと考えているが、ブラジルは先述の通り資源が豊かであり、労働力が豊富で現在人口ボーナス期が始まり2030年代後半まで続くと思われている。世界経済の資源需要の回復、豊富な労働力や巨大市場を求めたブラジルへの投資など外的要因による経済の好転もありうる。また2016年に入り資源価格の回復の兆しが見え始めていることも好材料である。

【進出日系企業の景況感】

ジェトロが実施した2015年度中南米進出日系企業実態調査の調査結果によると、ブラジル進出日系企業の

三光合成株式会社
SANKO GOSEI LTD.

〒939-1698 富山県南砺市土生新1200
1200 HABUSHIN NANTO CITY TOYAMA 939-1698 JAPAN
TEL 0763-52-1000 FAX 0763-52-1925
http://www.sankogosei.co.jp/

TAKAGI SEIKO

革新を続けるプラスチック創造企業

株式会社 タカギセイコー

代表取締役社長 八十島 清吉

本社/富山県富岡市二塚322-3 ☎(0766)24-5522代



トゥモロズミュージアム

景況感は厳しい。当該年の営業利益見込みが前年に比べて「改善」と答えた比率から「悪化」と答えた比率を引いた数値であるDI値はリーマンショックの影響を受けた2009年に匹敵するマイナス13.3と低水準となっている。2016年のDI値はマイナス8.8となっており、先行きについては2015年が景況感悪化の底になると見ている企業が多い。また投資環境面でのリスクに関しては9割以上の企業が「税制・税務手続きの煩雑さ」を挙げており最も多く、前年からの比較では通貨レアル安を受けての「不安定な為替」が前年比37ポイント増の82.4%となり、先述の政界汚職問題を受けた「不安定な政治・社会情勢」を挙げた企業の割合が前年比倍増の74.3%となった。景気が悪い話が多い中、日産が8月にコンパクトSUV「キックス」の現地生産販売の開始を発表するなど、オリンピックを機会に新たなビジネスを狙う動きも見られる。



新たな交通手段LRT

【オリンピック開催とレガシー・プロジェクト】

オリンピック開催まで1カ月を切った7月に入ってもジカ熱、治安の悪化、環境汚染等の開催に対する不安なニュースが多く伝えられているものの、現地ではそんな心配をよそに着々と準備が行われ、淡々とオリンピックが開催されるのではないかと見られているようだ。事実、今年4月の国際オリンピック委員会（IOC）の視察において、競技施設の98%が完成しているという話もある。

街はオリンピック歓迎ムード一色ではないが、昨年12月にはリオデジャネイロの都市再生プロジェクトの一環として近未来的な博物館である「トゥモロズミュージアム」が開館し、新たな観光施設として期待されている。また開館2ヶ月前となる2016年6月5日には三井物産が出資し現地企業と合弁で開発を行った次世代型路面電車（LRT）が開通した。このLRTは五輪観戦客の重要な輸送手段となる予定である。

リオデジャネイロオリンピックではレガシー（未来への遺産）・プロジェクトというものがある。これはオリンピックへの投資を未来に残すと言うものであるが、オリンピックパークに建設する競技施設を大会後に学校、国際会議場等に改築する計画があり、LRTを含むインフラもこれに該当する。これらのレガシーが今後のリオデジャネイロの経済活性化に役立つことを期待したい。



建設中のオリンピックパーク
写真：ジェトロサンパウロ事務所提供

TK TOYOKAKO
優れた技術と確かな品質でお応えします。
東洋化工株式会社
取締役社長 中田 守人
〒936-0857 津川市下梅沢1350番地
TEL (076) 475-2125 FAX (076) 475-9471

地球環境創造企業
TOYOX
株式会社トヨックス 〒938-8585 富山県黒部市前沢 4371
TEL 0765-52-3131 FAX 0765-52-4245
URL : http://www.toyox.co.jp

労務研修会

●平成27年度 第3回労務研修会

平成28年1月28日（木）に第3回労務研修会として「マイナンバーと社内規程・就業規則の対応の実務」を開催しました。殆どが総務、人事の担当者でした。

内容は、就業規則の変更や規程のつくり方等、まだ参考になる情報が少ない中、事例を交えながらの説明等、大変勉強になる内容でした。



講師 片境社会保険労務士事務所 所長 片境 貢氏
演題 「マイナンバーと社内規程・就業規則の対応の実務」
内容

1. 就業規則の変更例
2. 特定個人情報の保護に関する基本方針
3. 個人情報・特定個人情報取扱規程
4. 個人情報・特定個人情報安全管理細則

★受講感想 ㈱コージン 庄山 雄二

制度が開始されてからの研修会という事もあり、改めて制度の内容や注意点、新たに対応しなければならない事など具体的に学ぶ事ができました。

就業規則の対応や特定個人情報取扱規程などを事例と共にご説明いただきより深く理解する事ができました。今回の研修会で学んだ事を活かし、正確で円滑な運用をしていきたいと思っております。

●平成28年度 第1回労務研修会

平成28年6月7日（火）に第1回労務研修会を開催いたしました。昨年12月、改正労働安全衛生法が施行され、従業員50人以上のすべての事業所で「ストレスチェック制度」が義務付けられ、その導入前に押さえておきたい内容の研修でした。

ストレスチェック制度導入の必要性、職場一人ひとりの働きやすい環境作りの大切さ等、多くの総務、人事、管理関係にとって、大変勉強になる内容でした。



講師 独立行政法人労働者健康安全機構
富山産業保健総合支援センター

メンタルヘルス対策推進員 森 眞弓氏

演題 「ストレスチェック制度導入時におさえておきたいこと」
内容

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. 職業生活でのストレス等の状況 | 8. 高ストレス者選定方法 |
| 2. 労働契約法 | 9. ルール作りと周知 |
| 3. 心の健康づくり計画 | 10. 職場におけるメンタルヘルスケア |
| 4. ストレスチェック制度について | 11. 職場でメンタルヘルスケアを行う意義 |
| 5. ストレスチェック制度を実施する人 | 12. 労働安全衛生法 |
| 6. ストレスチェック制度導入前に準備すること | 13. その他 |
| 7. 不利益扱いの防止 | |

第1回青年部会研修会

演題：「素材とデザインで市場を拓く」
講師：株式会社能作 代表取締役社長 能作 克治氏

平成28年7月7日(木)に富山技術交流センター2階研修室にて16名の参加者を得て平成28年度の「第1回青年部会研修会」を開催致しました。本年度からの新部長 塩原様から開会のご挨拶を戴き、講演に移りました。

能作様からは、これまでの取り組みや新たな試みについての経営姿勢を披露して頂き、講演後には「社員との関わり、接し方」について質問等があり、受講者にとって非常に有益で貴重な時間となりました。

★受講感想 シロウマサイエンス 藤 松下 康二

能作克司社長の伝統工芸の継続への取り組み、また“守る”伝統から“攻める伝統”への挑戦、「錫100%の曲がる食器で世界的認知を目指す挑戦の方法」などあきらめず、続けることをポリシーとし、自分の信じる道をとことん追求していくことの大切さを今回の講演で改めて実感しました。また人の声に耳を傾け、世の中が求める商品の開発を行っていく姿勢にも感銘を受けました。今回、学んだことを自分の物だけに留めず「能作」のように活気ある職場作りに取り組んでいきたいと思えます。



経営セミナー

平成28年7月12日(火)に呉羽ハイツにて39名の参加者を得て平成28年度の「経営セミナー」を開催致しました。

第1部では株日本政策投資銀行 富山事務所の鶴殿所長に、自然災害や大火災、テロ攻撃に対して如何に早く事業を復旧させるか、事前の復旧計画の作成や教育訓練など、顧客への供給責任や社会的責任を果たす必要性と今後の対応について講演して頂きました。

また、第2部では株リッチェル 新事業開発室の堀田室長に「商品開発に関わるポイント」から「商品開発ステップ例」更には「商品開発事例」と非常に興味深い内容の講演をして頂きました。

【第1部講演】14:30～15:20

演題 「事業継続マネジメント (BCM) について」

講師 株式会社日本政策投資銀行 富山事務所 所長 鶴殿 裕氏

【第2部講演】15:30～16:20

演題 「顧客ニーズを捉えた新商品の企画・開発プロセス」

講師 株式会社リッチェル 新事業開発室 室長 堀田 裕二氏



鶴殿 裕 講師



堀田 裕二 講師

技術委員会レポート

優良企業視察研修会

視察先：(1)株富士通ITプロダクツ 本社工場 (2)澁谷工業株RP工場、EB工場 (3)津田駒工業株本社
平成28年6月14日(火)に隣の石川県の企業視察を実施しました。
3社3様の特色ある経営や管理面、人材育成についていろいろとお話を伺うことが出来、参加者からは自社の参考にとりいろいろな面から多くの質問があり、非常に有意義な研修となりました。

★視察感想

◇「株富士通ITプロダクツを視察して」三晶MEC 藤 瀬川 稔弘
この度、優良企業視察研修会にて株富士通ITプロダクツ様に訪問させて頂きました。

見学させて頂いた工場では、コンピューターシステムのサーバーやスーパーコンピューター等を生産されており、世界最高水準のスーパーコンピューター「京」の生産もされていました。

生産の形態としては、小数量多品種の生産で自動化も進められていたが、自動化出来ない手作業の工程も多く複雑かつミス許されない作業ばかりでした。

この様な作業を、色々なアイデアでヒューマンエラーの撲滅や生産効率UPに取り組まれていました。具体的には、RFIDタグやDPS、作業ナビなど最先端の改善や見える化を進められカンバン方式などで無駄のない生産方式を採用されていました。

また、現場から改善のアイデアが上がる環境を確立されており 従業員一丸となって改善を実現されていると感じました。

今回の研修会で得た経験を自社でも生かせる場所には参考にさせて頂きたいと考えております。

★視察感想

◇「澁谷工業株を視察して」株齊藤製作所 島林 孝吉

この度、優良企業視察研修会にて澁谷工業株 RP・EBシステム森本工場を訪問させて頂きました。

工場内では国内トップシェアを誇るボトリングシステムが製造されており、その複雑さや大きさに圧倒されました。ボトリング以外にも様々な分野のシステムが製造されており、これまで培われてきた確かな技術があつてこそ可能としている幅広い事業展開を実感することができ感銘を受けました。この技術力は充実した教育制度のもと、社員が必要な知識・技術を身に付け、先を見据えた成長を続けている結果なのだと感じました。

今回の視察で得られた事を今後の技術向上、事業発展に活かしていきたいと思えます。

★視察感想

◇「津田駒工業株を視察して」株北熱 寺中 肇

この度、先進企業視察研修会にて津田駒工業株式会社様を訪問させて頂きました。

100年以上にわたって繊維機械分野や工作用機器分野の技術開拓を行っておられ、その最先端のマシンとして高速エアジェットルームや高速ウォータージェットルームの実演を拝見させて頂きそのスピードに目を見張りました。

またジェットルーム組み立て工場の見学では、製品機械のサイズにより流し方が違い、各サイズに適した部品供給から組立、検査をすることで高品質・高効率を実現されていることや取り組み意識の高さに感嘆させられました。

今後、本視察研修会で得られたことや感じたことを、日々の業務に活かしていきたいと思えます。



研修講習事業報告

前期レベラップ研修会

と き：平成28年4月6日(水)～23日(土)
 ところ：ポリテクセンター富山
 参加者：32名



射出成形実技講習

と き：平成28年5月11日(水)～6月30日(木)
 ところ：ポリテクセンター富山
 講師：旭井 富士夫氏
 渋谷 巽氏
 参加者：1級34名 2級56名



労務研修会

■平成27年度 第3回
 と き：平成28年1月28日(木)
 ところ：富山技術交流センター2階研修室
 演 題：「マイナンバーと社内規程・就業規則の対応の実務」
 講 師：片境社会保険労務士事務所
 所長 片境 貢氏

■平成28年度 第1回
 と き：平成28年6月7日(火)
 ところ：富山技術交流センター2階研修室
 演 題：「ストレスチェック制度導入時におさえておきたいこと」
 講 師：独立行政法人労働者健康安全機構
 富山産業保健総合支援センター
 メンタルヘルス対策推進員 森 眞弓氏

青年部会研修会

と き：平成28年7月7日(木)
 ところ：富山技術交流センター2階研修室
 演 題：「素材とデザインで市場を拓く」
 講 師：株式会社 能作
 代表取締役社長 能作 克治氏

射出成形学科講習

と き：平成28年7月23日(土)
 ところ：ポリテクセンター富山
 講師：渋谷 巽氏
 参加者：1級22名 2級46名



 阪神化成工業株式会社

〒939-8183 富山市小中163番地
 TEL(076)429-1865代
 FAX(076)429-6042
 URL <http://www.hansin.co.jp/>

会員広場

優良従業員表彰

平成28年6月2日(木)に富山第一ホテルにて表彰式があり、16社から21名の方が優良従業員表彰を受章されました。

表彰式では高田会長より永年に渡る貢献への労いと、今後も健康に留意し一層のご活躍を期待する挨拶、来賓を代表して(公財)富山県新世紀産業機構 海野 進専務理事よりお祝いのお言葉があった後、株式会社ヨックスの澤田 奈緒美さん他20名が表彰されました。



氏名	企業名
池田 弘幸	三協化成株
石金 満	阪神化成工業株
石崎 文治	三光合成株
小幡 勝	テクノプラス株
尾山 稔	JFEマテリアル株
狩野 俊治	ミュキ化成株
上坂 聡	株タカギセイコー
澤田奈緒美	株トヨックス
三箇 直人	ファインプラス株
高田 靖	ミュキ化成株
田中 博明	小林製薬ブラックス株
谷口 政博	阪神化成工業株
飛鳥 和彦	株トヨックス
新田 智宏	株大樹
浜元 少司	三光合成株
深川 勇	株確井製作所
芳里 泰	太平株
宮森寿美恵	株コージン
谷内 里美	五栄化学工業株
山本 篤子	株コージン
好田 信幸	株リッチェル

懇親ボウリング大会

平成28年7月2日(土)に懇親ボウリング大会を開催いたしました。会場は、クアトロブーム小杉にて10社14チーム70名の男女が参加しました。

昨年よりやや人数は少なかったものの、ストライクにハイタッチやスベアにガッツポーズと、皆さん元気にプレーされ2ゲームで成績を競いました。

優勝の栄冠は団体ではシロウマサイエンス株チーム「ピンクジャンボール」、個人では、「三光合成株富山工場の高田 良昭さん」の頭上に輝きました。団体戦では7つの賞を、個人戦では22の賞を設けました。(下記表は上位の成績です)

■団体の部 (1チーム5名 計10ゲーム)

氏名	チーム名	企業名
優勝	ピンクジャンボール	シロウマサイエンス株
準優勝	三光テック	三光合成株
3位	富山工場	三光合成株
4位	TEAM HANSHIN	阪神化成工業株
5位	TEAM TAKADA	株タカギセイコー

■個人の部 (2ゲーム)

氏名	チーム名	企業名
優勝	高田 良昭	三光合成株
準優勝	岸沢真栄子	三光合成株
3位	谷田美千代	シロウマサイエンス株
4位	杉谷 光雄	株リッチェル
5位	長井 茂美	三光合成株



団体の部優勝
 シロウマサイエンス株 ピンクジャンボールチーム



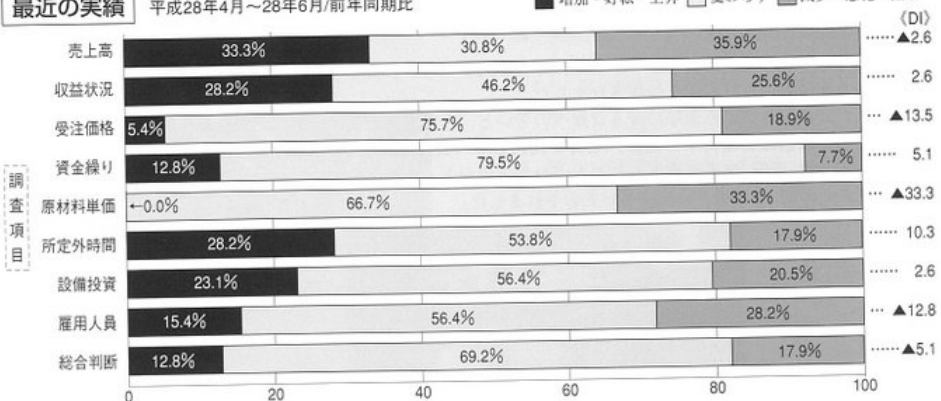
個人の部優勝
 三光合成株 高田 良昭さん
 個人の部準優勝
 三光合成株 岸沢真栄子さん
 個人の部第3位
 シロウマサイエンス株 谷田美千代さん

会員企業による景況調査

最近の実績

平成28年4月～28年6月/前年同期比

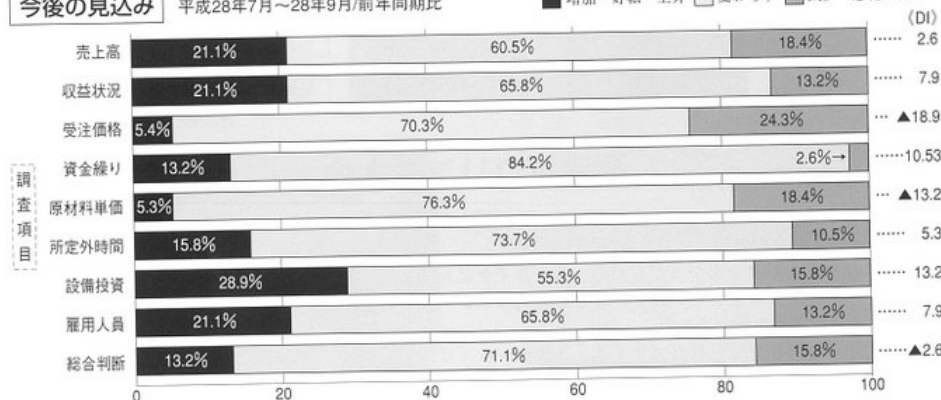
■ 増加・好転・上昇 □ 変わらず ▨ 減少・悪化・低下



今後の見込み

平成28年7月～28年9月/前年同期比

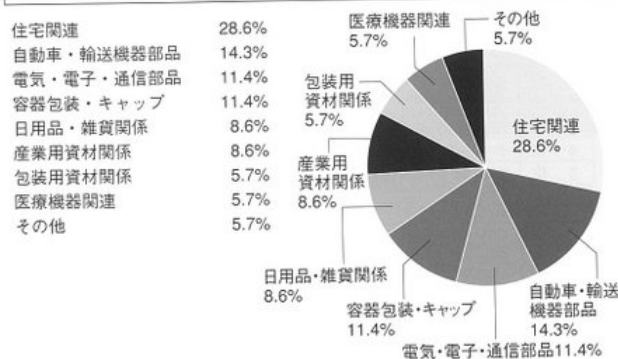
■ 増加・好転・上昇 □ 変わらず ▨ 減少・悪化・低下



雇用について

①28年度4月新規学卒者入社予定	ある	35.9%
	ない	64.1%
②28年4月～9月の中途採用実績・予定	ある	56.4%
	ない	30.8%
	未定	12.8%
③29年4月の新規学卒者の採用予定	ある	56.4%
	ない	30.8%
	未定	12.8%

売上(取扱い)の商品の中で最もウエイトが高いのは?(35社回答)



直面している経営上の問題点について

《全体》

- 製品ニーズの変化への対応
- 従業員の確保難
- 生産設備の不足・老朽化
- 需要の停滞
- 製品単価の低下・上昇難
- 技術伝承者の確保難
- 人件費の増大
- 生産設備の過剰
- 原材料価格の上昇
- 原材料費、人件費以外の経費の増大
- その他



《1位》

- 製品ニーズの変化への対応
- 生産設備の不足・老朽化
- 従業員の確保難
- 需要の停滞
- 製品単価の低下・上昇難
- 技術伝承者の確保難
- 人件費の増大
- その他



《2位》

- 製品単価の低下・上昇難
- 需要の停滞
- 人件費の増大
- 従業員の確保難
- 製品ニーズの変化への対応
- 技術伝承者の確保難
- 生産設備の不足・老朽化
- 原材料価格の上昇
- 原材料費、人件費以外の経費の増大



《3位》

- 従業員の確保難
- 生産設備の不足・老朽化
- 製品ニーズの変化への対応
- 技術伝承者の確保難
- 製品単価の低下・上昇難
- 需要の停滞
- 生産設備の過剰
- 人件費の増大
- 原材料費、人件費以外の経費の増大



プラスチック関連データ

加工機械生産実績

金額：百万円

	合計		射出成形機										押出成形機				ブロー成形機	
	計		型能力100t未満		型能力100t以上200t未満		型能力200t以上500t未満		型能力500t以上		本体		付属装置		本体			
	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額
H23	13,319	173,032	11,411	125,212	4,221	26,823	4,426	38,041	2,195	33,232	569	27,116	472	23,946	901	11,964	535	11,910
H24	13,523	183,827	11,519	133,827	4,109	26,256	4,433	39,934	2,333	33,546	644	34,091	425	25,505	983	10,963	596	13,532
H25	12,667	176,000	10,765	129,486	3,499	21,742	4,103	37,971	2,514	36,674	649	33,099	449	18,927	806	9,320	647	18,267
H26	13,708	193,780	11,739	143,209	3,593	23,910	4,844	45,297	2,568	38,322	734	35,680	484	22,339	865	10,394	620	17,838
H27	14,434	206,261	12,471	156,333	3,777	25,016	4,871	45,397	3,058	46,587	765	39,333	453	20,187	966	11,797	544	17,944
前年同月比%	117.8	110.5	123.7	127.8	161.5	149.1	102.3	91.2	116.2	116.0	149.1	191.3	53.1	38.0	96.4	81.7	81.5	64.5
H27.11月	1,105	14,515	946	12,362	309	2,012	335	3,339	245	3,640	57	3,371	27	578	98	690	34	885
前年同月比%	115.2	115.5	112.8	113.4	112.8	102.4	102.8	110.5	138.4	134.5	91.9	105.2	112.5	77.1	144.1	237.9	121.4	141.6
H27.12月	1,142	17,657	949	12,955	216	1,547	371	3,496	287	4,293	75	3,619	42	1,289	102	1,589	49	1,824
前年同月比%	102.2	92.6	101.3	104.1	69.5	75.3	114.9	107.1	127.0	130.9	97.4	94.1	97.7	41.2	118.6	85.8	96.1	111.6
H28.1月	983	14,613	868	10,129	264	1,759	334	3,006	226	3,495	44	1,869	28	2,939	49	374	38	1,171
前年同月比%	95.2	106.2	93.9	91.5	97.1	103.5	90.0	87.8	100.9	103.0	77.2	73.2	93.3	598.6	116.7	39.9	102.7	92.9
H28.2月	1,256	19,482	1,088	14,015	334	2,150	407	4,027	285	4,169	62	3,669	33	2,925	68	534	67	2,008
前年同月比%	99.5	113.4	102.9	103.0	105.0	102.8	101.2	101.7	104.4	97.2	96.9	112.3	82.5	316.9	62.4	82.7	119.6	100.6
H28.3月	1,504	25,369	1,237	14,630	386	2,553	486	4,462	298	4,443	67	3,172	72	5,114	125	2,892	70	2,733
前年同月比%	106.8	110.8	103.3	95.4	107.2	108.7	101.0	100.7	104.9	102.1	93.1	75.6	116.1	99.4	128.9	341.4	134.6	173.4
H28.4月	1,172	13,709	1,027	10,849	313	1,696	412	3,279	247	3,360	55	2,514	21	1,074	77	340	47	1,446
前年同月比%	99.2	77.8	98.7	83.0	102.0	80.2	98.8	84.5	99.2	87.3	80.9	77.9	53.8	33.8	114.9	77.6	138.2	155.8
H28.5月	976	13,080	853	10,048	286	1,756	304	2,632	206	3,156	57	2,504	20	432	61	970	42	1,630
前年同月比%	89.0	88.2	89.4	87.3	97.3	91.3	83.5	73.2	85.5	86.3	103.6	107.3	58.8	36.0	96.8	381.9	91.3	86.9

原料生産実績

単位：トン

	計	フェノール樹脂	ポリエチレン	ポリスチレン	ポリプロピレン	メタクリル樹脂	塩化ビニル樹脂	ポリカーボネート	ポリアセタール	PET樹脂	PBT樹脂	その他樹脂
H23	11,237,030	276,078	2,834,368	1,275,470	2,448,358	202,560	1,529,060	300,653	138,500	565,469	178,714	1,487,800
H24	10,539,548	274,564	2,604,904	1,167,702	2,390,256	172,554	1,330,785	316,797	123,954	472,061	182,168	1,503,803
H25	10,579,334	287,515	2,630,960	1,189,070	2,248,199	162,512	1,486,533	309,208	122,958	526,163	159,942	1,456,174
H26	10,570,102	284,080	2,639,042	1,162,553	2,348,567	150,293	1,476,748	303,813	115,658	463,366	174,126	1,451,856
H27	10,798,776	278,253	2,609,408	1,210,479	2,500,500	152,997	1,646,112	294,449	100,108	431,088	188,565	1,386,817
H27.11月	939,514	24,084	246,566	104,729	219,105	12,696	135,549	24,104	4,364	32,128	15,594	120,595
前年同月比%	106.3	103.3	106.6	108.0	108.3	107.2	112.4	96.3	108.6	85.9	163.4	99.0
H27.12月	965,455	22,853	253,708	111,399	220,744	12,280	139,582	25,078	8,325	36,323	17,593	117,570
前年同月比%	102.9	100.6	106.4	115.5	106.2	105.0	98.1	92.3	80.5	84.5	110.7	95.9
H28.1月	958,840	22,838	245,250	104,027	223,151	12,556	144,435	22,418	10,770	34,799	16,823	121,773
前年同月比%	99.8	100.7	107.2	104.0	93.8	97.5	102.4	81.9	97.9	85.5	99.1	100.4
H28.2月	907,089	23,813	216,100	102,723	212,253	12,850	145,855	25,025	8,517	28,460	14,818	116,675
前年同月比%	105.3	105.0	103.4	117.9	106.7	99.9	108.6	105.7	89.1	89.8	94.5	100.8
H28.3月	845,478	24,848	195,569	81,743	210,038	12,409	126,121	28,743	7,284	31,409	11,531	115,783
前年同月比%	96.1	100.4	94.2	91.5	99.6	93.7	87.3	133.7	106.9	96.3	79.7	101.4
H28.4月	863,474	23,177	203,949	92,373	217,837	10,204	121,644	22,144	9,394	37,909	16,911	107,932
前年同月比%	98.2	96.7	93.3	89.0	113.8	76.8	93.2	93.2	122.5	95.8	121.5	95.9
H28.5月	867,723	21,649	215,365	96,393	188,756	12,549	136,309	26,223	10,776	38,435	17,447	103,821
前年同月比%	103.1	103.9	115.7	101.0	95.3	90.9	108.2	89.7	105.7	95.8	98.6	100.0

プラスチック関連データ

製品生産実績

単位：トン

	計	フィルム	シート	板	合成皮革	パイプ	継手	機械部品①～③			日用品・雑貨	容器		建材	発泡製品	強化製品	その他	
								計	①輸送機械部品	②電気通信部品		③その他部品	中空成形容器					その他の容器
H23	5,679,777	2,153,034	245,715	131,246	51,068	392,232	58,068	605,843	393,415	161,971	50,457	278,925	578,975	283,274	274,915	292,110	66,937	267,433
H24	5,858,551	2,165,469	236,637	127,631	51,514	434,609	57,616	685,013	484,324	147,689	53,000	303,050	551,614	316,352	288,173	294,402	66,515	280,316
H25	5,975,043	2,282,078	242,043	124,575	50,146	480,706	60,783	678,648	485,251	140,425	52,972	297,110	541,007	262,131	305,268	276,250	73,771	300,527
H26	5,708,219	2,197,776	237,113	107,571	53,058	432,057	56,839	644,768	476,051	118,570	50,147	291,262	508,908	273,139	312,066	250,646	70,481	272,535
H27	5,618,053	2,207,678	230,847	111,702	54,062	397,497	43,360	629,166	462,999	114,783	51,384	289,613	499,451	270,801	296,556	248,548	73,915	264,857
H27.11月	498,564	198,788	20,140	9,521	4,899	37,590	4,085	55,581	41,514	9,789	4,278	25,749	39,108	24,066	27,179	22,734	6,080	23,044
前年同月比%	104.5	104.2	103.8	111.3	108.9	100.0	88.8	108.1	109.1	105.3	105.2	105.6	107.0	106.9	107.2	103.3	106.4	98.0
H27.12月	459,394	179,094	18,789	9,207	4,512	35,527	3,636	54,109	40,776	9,334	3,999	24,384	34,359	22,339	24,691	21,434	5,894	21,419
前年同月比%	99.9	100.7	100.2	107.1	99.9	95.0	78.7	103.6	105.6	98.7	96.2	96.8	100.8	101.5	100.6	101.7	104.4	90.7
H28.1月	426,280	170,156	17,052	8,298	4,514	30,816	3,477	51,487	38,731	8,930	3,826	22,540	32,688	18,326	22,619	18,767	5,697	19,843
前年同月比%	98.9	102.0	93.4	100.7	101.8	89.9	93.7	99.9	100.3	101.0	94.1	107.3	97.1	86.6	102.8	99.0	104.6	92.2
H28.2月	457,101	178,246	18,329	8,797	4,702	33,704	3,926	52,277	38,734	9,380	4,163	24,526	38,827	21,771	25,224	19,254	6,270	21,248
前年同月比%	103.0	105.4	97.7	106.9	102.0	96.4	101.7	100.1	100.1	102.0	96.5	107.8	105.9	103.9	102.1	104.3	106.2	93.2
H28.3月	483,543	189,058	18,185	9,081	5,040	33,061	3,770	57,367	42,798	10,291	4,278	25,593	42,130	23,670	27,330	20,518	6,391	22,349
前年同月比%	101.1	101.7	93.9	101.2	101.2	96.2	88.8	104.6	104.9	105.9	98.5	103.6	102.4	100.2	104.2	103.8	104.2	93.6
H28.4月	468,191	188,736	19,005	9,419	4,700	24,148	3,665	51,438	37,622	9,729	4,087	26,761	43,748	24,316	24,284	20,607	5,663	21,701
前年同月比%	98.4	98.9	93.5	93.7	101.2	108.4	106.9	95.2	96.0	97.7	93.6	102.2	99.2	98.0	94.4	101.3	101.6	91.0

(経済産業省「プラスチック」)

